

ワンニャントピック



W



救助犬「ジェニファー」が被災地でお手柄

2024年1月1日に震度7を観測した能登半島地震では、現在も住民の生き埋め情報が多数寄せられており、安否が懸念される。防衛省によると、石川県輪島市内の家屋内にいた高齢の女性を救助犬が発見、救出につなげたのです。

ワンちゃんは3歳メスの「ベルジアン・シェパード・ドッグ・マリノア」で、名前はジェニファーちゃんです。自衛隊はジェニファーを含め10匹以上を投入し、行方不明者の捜索・救助活動などに当たっています。ジェニファーの所属する空自では、昭和36年に「歩哨犬」という名称で運用がスタートし、平成25年からは「警備犬」に呼称を変えました。元来の任務は基地内の巡回警備や不審者警戒、嗅覚を生かした爆発物や不審物の探知などだが、東日本大震災以降は、災害現場へも救助犬として派遣されるようになりました。

救助犬による一人でも多くの方の救助を祈るばかりです。



猫カフェ美術館「ニャージアム」

参照 <https://www.afpbb.com/articles/-/3466642>

イランの首都テヘラン中心部にある小さな2階建ての建物に、30匹ほどの猫ちゃんが暮らす猫カフェ美術館「ニャージアム」があります。

館長のホセイン・ハムレフダリさんが「ニャージアム」を開いたのは、2020年であり、入り口に立つと、大きな雄の猫ちゃんが歩いてきて、出迎えてくれるそうです。また、シェヘラザード、ファロク、シャプール、シリンなどと名付けられた人気猫たちがギャラリーや館内のカフェテラスを自由に歩きまわっているそうです。他にも、壁にはイランをはじめ韓国、ギニア、ウクライナなど世界各国の猫ちゃんが描かれた絵や写真、戯画、切手などの複製が飾られており、様々な保護猫たちと触れ合い、遊ぶために訪れる人も多いそうです。

イランでは、特にテヘランなどの大都市で野生の猫ちゃんが増え過ぎ、問題になったことがあるので、こうした猫ちゃんと人とが触れ合える場所は、今後重要になっていくでしょう。

